



らくらく家庭菜園セット 設置ガイド

この設置ガイドでは、設置方法の順序を箇条書きで説明しています。

詳しくは施工説明書および本体説明書をご参照いただき、設置をお願いいたします。

セット内容

- ソーラー番兵 S12 リチウム 1台
- リングトップアース 1本
- FRP支柱 15本
- クリップ 60個
- ホワイトワイヤー 1巻
- 簡易緊張具 4個
- ゲートハンドル 4個
- 危険表示板 1枚
- ネオンテスター

必要な道具

- 作業用手袋
- ゴム又はプラ製のハンマー
- 作業用ハサミ又はニッパー

① 前準備 現場でやる前に用意しておく便利です。

- 1、「S12 リチウム」本体を、天気のいい日に1日、日光浴してからご利用をおすすめします。
※詳しい使用方法は、S12本体の取扱説明書をご参照ください。
- 2、FRP支柱にクイッククリップを図のように4つ取り付けます。
クリップ位置はポールを設置後に調整します。



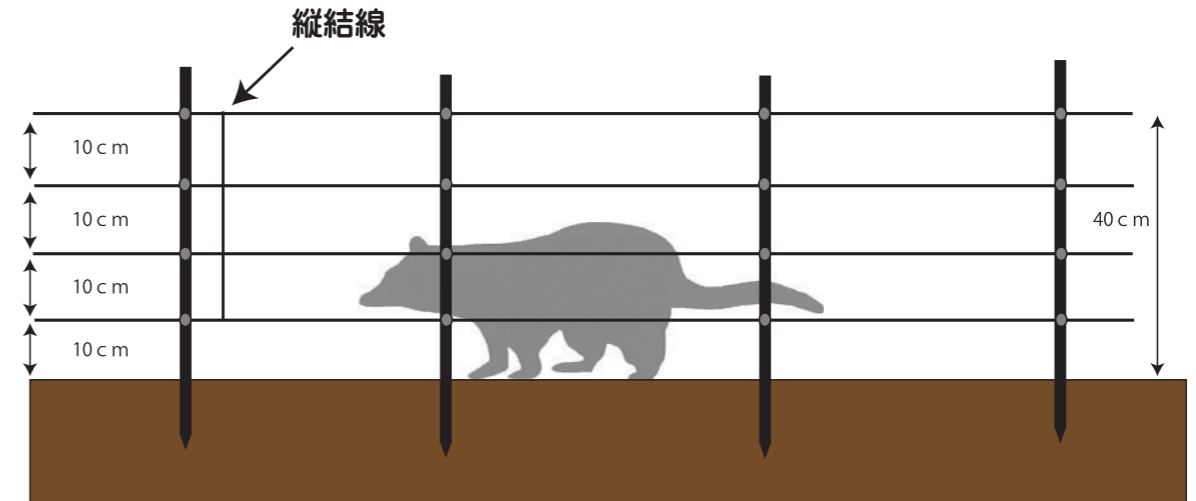
② 柵の設置

- 1、四角形の外周の場合、まず支柱を、各コーナー・出入口となる部分合わせて6箇所設置します。
支柱はグラグラしないようハンマーを使い、20~30cm程度しっかり打ち込みます。
まっすぐ打ち込むよう心がけると、あとの仕上がりがきれいです。
- 2、水系代わりに1段目のワイヤーを出入口部から、支柱の外側にクリップに通して張っていきます。
張る高さは対象動物によって違いますが、例えばハクビシンやアライグマ対策の場合は、
地面から10cm上の位置にクリップを調整します。
- 3、中間の支柱を3.5m程度の間隔で、ワイヤーの内側に立て、クリップにワイヤーをかけます。
地面とワイヤーの隙間が10cmで保持できるよう地面を均すか、追加ポールをたてて設置します。

※詳しくは、施工説明書の5、6をご参照ください。

- 4、2、3、4段のワイヤーを1段目と同様に張り、最後に4段全てをワイヤーで結線します。
これで4段すべてのワイヤーが繋がったことになります。

※詳しくは、施工説明書の8をご参照ください。



- 5、出入口部は、出入口の幅に合わせてワイヤーをカットして、ゲートハンドルにワイヤーを取り付けます。ゲートハンドルをクリップにかけて使用します。

※詳しくは、施工説明書の9をご参照ください。

- 6、簡易緊張具を取り付け、ワイヤーに緊張をかけます。

※詳しくは、施工説明書の7のワイヤーの緊張をご参照ください。

- 7、危険表示板を目立つ場所に設置します。

- 8、本体は、電気柵の内側で、十分に日が当たる場所に設置します。
リングトップアースを30cm以上しっかり深く打ち込みます。
本体のソーラーパネル面（正面）を南に向け、アースに取り付けます。
取り付け方は、S12本体説明書をご参照ください。



- 9、S12本体に付属の赤色の接続コードを接続し、ワニ口部をワイヤーにつなぎ、
本体の電源を入れる。

※使用方法は、S12本体の取扱説明書をご確認ください。

- 10、付属のネオンテスターで計測し、ネオン管が6000V以上点灯したら確認完了です。
(アースペグを地面に差し、テスターの金属部をワイヤーにあてて計測します。)

※詳しくは、ネオンテスター説明書をご参照ください。